

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成28年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立あさひワークホーム	所管課	福祉保健部 障害福祉課
所在地	韮崎市旭町上條南割3294	設置年月日 (改築年月日等)	昭和58年5月1日
指定管理者	社会福祉法人山梨県障害者援護協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積:17,240㎡ ○建築延面積:1,998.43㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造平屋建ほか ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・管理居住棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,580.92㎡ ・渡り廊下(鉄骨造平屋建) 50.00㎡ ・作業棟(鉄骨造平屋建) 291.12㎡ ・プロパンボンベ置場(コンクリートブロック造平屋建) 6.10㎡ ・短期入所用居室(鉄骨造等) 70.29㎡ ○各障害福祉サービスの定員 <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護:38人 ・就労移行支援:8人 ・施設入所支援:40人 ・短期入所:5人 ・就労継続支援B型:34人 		
主な業務内容	<p>(1)施設等の維持保全に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 <p>(2)利用者に対する障害福祉サービス業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護、短期入所、就労移行支援、就労継続支援B型及び施設入所支援に係る業務を行う。 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<p>近隣施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県立あけぼの医療福祉センター:医療型障害児入所(療養介護)(80人)、児童発達支援(15人)、生活介護(15人)、短期入所(15人) ・山梨県立育精福祉センター成人寮:生活介護(105人)、短期入所(9人)、施設入所支援(90人)
------------------------------	---

3 利用状況

単位：人、%

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (目標値)
利用者数	生活介護	39	36	36	
	短期入所	7	3	3	
	就労移行支援	10	9	6	
	就労継続支援B型	31	26	26	
	施設入所支援	35	35	35	
	利用者数合計	122	109	106	
	目標値	125	125	125	125
	目標値設定の考え方及びその理由	定員を目標値とする。			
対26年度比		89.3%	86.9%		
利用率	97.6%	87.2%	84.8%		

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成27年度	平成28年度 (計画値)	平成28年度 (実績値)	平成29年度 (計画値)
収入	施設利用料	199,716,322	190,200,000	192,380,813	192,360,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	19,642,971	14,370,000	16,315,450	13,530,000
	収入合計(A)	219,359,293	204,570,000	208,696,263	205,890,000
支出	人件費	124,964,952	119,550,000	114,994,822	121,900,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	67,878,841	85,020,000	72,198,564	88,940,000
	うち外部委託費(B)	1,525,538	1,900,000	1,533,249	1,900,000
支出合計(C)	192,843,793	204,570,000	187,193,386	210,840,000	
収支差額(A-C)	26,515,500	0	21,502,877	△ 4,950,000	
外部委託比率(B÷C)	0.8%	0.9%	0.8%	0.9%	
利用者一人当たりの経費					

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成29年3月 実施方法:入所及び通所利用者へのアンケート 回答数:65人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設設備	57.0%	32.3%	4.6%	6.1%
個別支援計画	49.2%	38.5%	9.2%	3.1%
日課・作業等	64.6%	24.6%	7.7%	3.1%
食事	45.1%	33.9%	9.7%	11.3%
入浴(着替え等)支援	70.7%	17.1%	2.4%	9.8%
健康管理	64.6%	30.8%	1.5%	3.1%
利用者への接し方	61.5%	29.3%	4.6%	4.6%
外泊対応	57.7%	23.1%	3.8%	15.4%
外出対応	62.1%	17.2%	13.8%	6.9%
施設全般の満足度	60.0%	32.3%	1.5%	6.2%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・自動ドアが目の前で閉まる。 ・食堂の壁の張り替えや居室を二重サッシにしてくれてありがたい。 ・所外活動は人数が満たされると締め切ってしまうので早い者勝ちになってしまい残念。 ・温かいものが食べたい。 ・入浴について利用する人が多く、自分の入る時間が把握できない。 ・言葉使いを直して欲しい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した自動ドアを取り替え、安全性と快適性を高めた。 ・生活介護事業の日中活動の充実に取り組み、多彩な活動メニューの提供に努めていく。 ・毎日の食事について栄養士が利用者から直接感想を聞き取るとともに、年4回行われる給食委員会で利用者代表から意見を聴取し、献立や味付けに反映させていく。 ・利用者の安心安全を最優先に快適に入浴していただけるよう、さらに支援の充実に努める。 ・接遇向上委員会の活動や所外研修を通し、適切な利用者対応のスキル向上に努める。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。 昨年度、県により導入した防犯カメラや非常通報装置により防犯対策が強化された。	業務仕様書に基づき概ね適正に実施されている。施設・設備の老朽化が目立つため、利用者の安全性に留意し、保守点検等で異常が確認された場合は県に報告すること。 防犯対策については、日頃から点検項目による自己チェックを行うなど、継続した取り組みをお願いしたい。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、概ね適性に実施されている。引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。
利用状況	年間利用実績は以下のとおりである。 ・生活介護:94.7% ・短期入所:51.7% ・就労移行支援:52.0% ・就労継続支援B型:85.3% ・施設入所支援:87.9% 短期入所と就労移行支援について、関係機関との連携を図りながら利用者の確保に努めていく。	引き続き、利用状況についての情報をホームページ上で積極的にPRするなど、利用促進のための広報活動に取り組み、関係機関とも連携を図りながら、安定的な運営に努められたい。
収支状況	平成24年度から実施している生活介護及び短期入所が順調であり、施設利用料(自立支援給付費等)は、例年程度の収入を確保できた。	安定した施設の経営がなされている。 なお、施設・設備の老朽化に伴い、修繕費の増加が予想されるため、今後も、計画的な修繕及び経費の節減に努力されたい。
自主事業	指定相談支援及び日中一時支援事業について、事業計画書に基づき適正に業務を執行した。	自主事業申請(事業計画書)に基づき、適正に業務が執行されている。
利用者満足度	「満足」「どちらかと言えば満足」の回答が多く出ている。今後においても、利用者の視点に立ったサービスの提供に心がけていく。	利用者の満足が図られており、概ね良好な結果であったが、接遇などの要望については速やかに対応するなどし、利用者の視点に立った運営に努めること。
運営目標の達成状況	身体障害により、一般企業で雇用されることが困難な方に必要な訓練を行い、自立した社会生活を目的として、個別支援計画に沿ったサービスを提供するとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できた。個々の利用者の状況を把握し、必要に応じた支援を行うことにより、利用者の生活の質を向上させることができた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設の老朽化に伴う維持管理についてはその都度改善しており、施設管理・運営業務等について、条例、協定等に基づき適正に履行した。 質の高いサービスを提供しつつ効率的に運営されている。 利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力した。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	条例、協定等に基づき適正な執行を行い、施設・設備については利用者の安全や利便性に留意し、随時、修繕を行う。 サービス向上に努めるとともに、効率的な施設経営を行い、安定した経営の継続を目指す。 利用者満足度調査の結果を踏まえ、利用者個々のニーズに対応するよう努力する。	

7 管理体制(組織図)

平成28年4月1日現在

